

I-5 子どもの成長を認め、自尊心を育てる

テーマ

2歳児は、かんしゃく・けんかなど、自己主張が強まる時期です。つい感情的になって怒ってしまうということはありませんか。いつもの生活場面を振り返り、上手にほめたり叱ったりしながら、子どもの成長を認め、「ほくもう赤ちゃんじゃないよ!」の自尊心を育てる子育てについて考えてみましょう。

Work

いつもの生活を振り返り、ほめる、叱る、
どうしたら良いか迷うことを書きましょう。

〈ほめていること〉

どんな場面で、どんなふうに

子どもの反応・あなたの気持ちは?

〈叱っていること〉

どんな場面で、どんなふうに

子どもの反応・あなたの気持ちは?

〈どうしたら良いか迷うこと〉

どんな場面で、どんなふうに

子どもの反応・あなたの気持ちは?

資料 ダメなところを責めるより、良いところを増やしていこう。

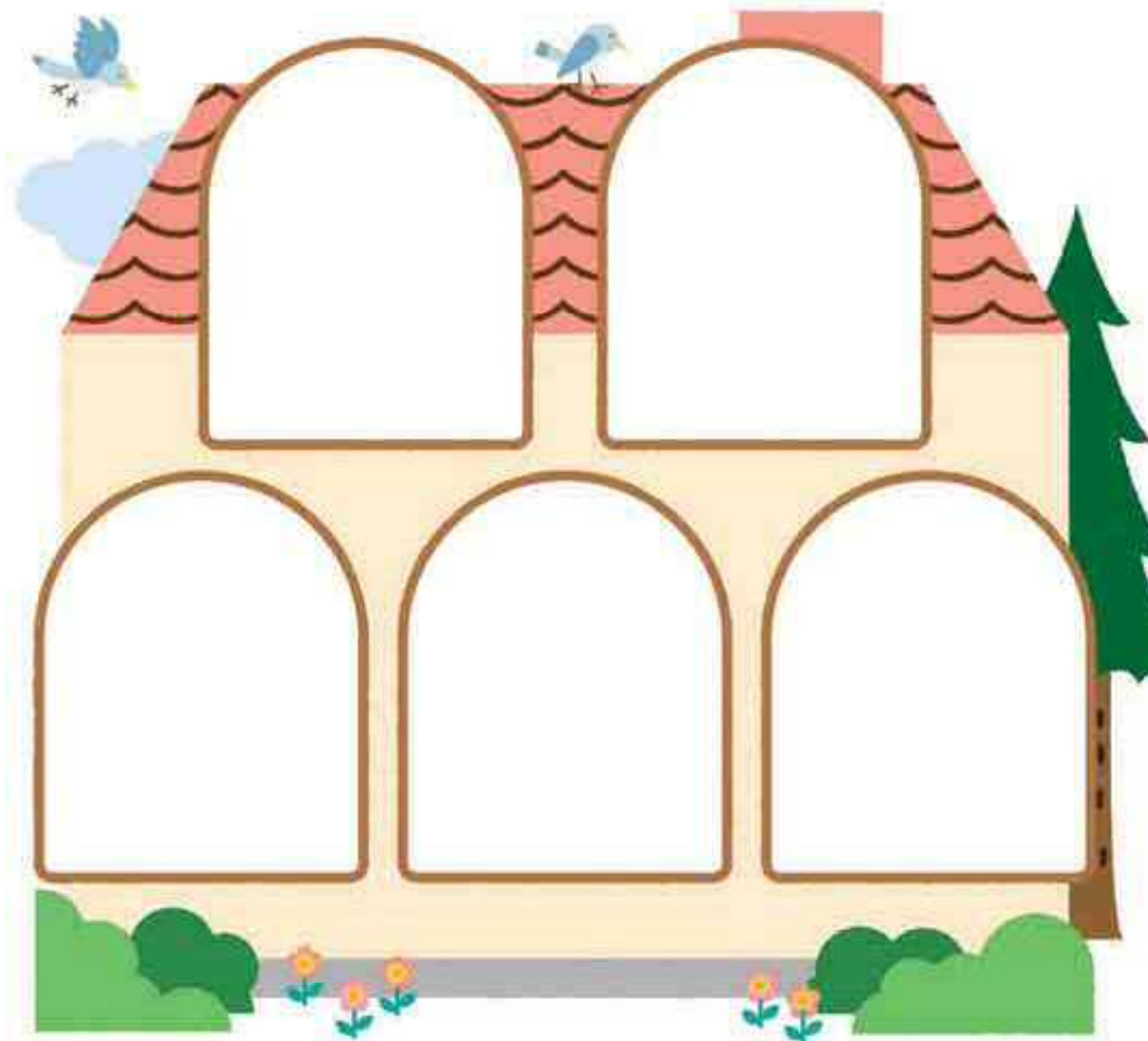
子どもに大切なのは、自信と、自分を大切にできる力です。それは植物の根のようなもので、深く広く張るほど大きな実りをもたらします。表面的なことにとらわれることなく、その子が大きく育つことを信じて心に豊かな水や栄養を与えましょう。

そして、その水や栄養となるのが、子どもの良いところを見だし、ほめることです。叱るべきときは叱り、ほめるべきときはちゃんとほめる。一つ叱ったら三つほめるぐらいのバランスを心がけましょう。ほめられることで子どもは喜びを感じ、自信や自尊心を育てていくのです。

【文部科学省 家庭教育手帳—乳幼児編(ドキドキ子育て)】

グループ
Work

Workに書いたことをもとに、「ほめること・叱ること」についてグループで話し合い、子どもの成長を認め、「もう赤ちゃんじゃないよ!」の自尊心を育てるかわりの工夫について考えてみましょう。



振り返りシート

グループワークを振り返り、気付いたことを書いてみましょう。

- グループワークに参加してどんなふうに感じましたか。
- 他のお母さんの意見から得た気づきや、ヒントを書きましょう。